第3章

原子力発電所

ピ 大家と田 0) 横 に 中との連絡 置 カコ れ る。 そして前にビデオカ 用 の携帯電話と一緒に買った少し小さめ メラ、 これ も大家が 山 の液晶テレビが 田 電 気で買った 例 ŧ 0 不思議なテ 0) だ が、 三

テレ ピ 0 間 に は 大 きめ 0 液 晶 時 計 が 置 1 て あ

脚

0

上

に

鎮

座

L

て

1

つでも不思議

なテ

V

Ľ

0

映像

を録

画

できるようにしてある。

更にふ

た

つの

「このテレビの映像はどこの放送局が流してるんだろう」

「わしもずーっと気になっていた」

「NHKの映像とは明らかに違う」

に音 に ル 画 L IJ 声 か モ 面 が流流 映らないときもあれば、フルに映ることもある。 コンどころか の場合は約五十インチになる。 れる。 テレ 電 ビに耳を近づけてもどこから音が出てい 源 コードもな V それだけではなく右寄りに、左寄りに、 のに、 何か 2の拍子 中央部だけのときは約三十インチでフ に映 像 るか分からな が 現れる。 スピー V ) あるい カー 画 は上寄り、 面 ŧ t 中 な -央部  $\mathcal{O}$ 

下寄 る。 ŋ É 映る場合もある。 とにかく自由奔放に映像が現れる。 そしてプツンと消えることもあ

「ドラマやバラエティー番組はありませんね」

「ニュースというか報道番組だけしか放送していない」

局 「そ の名前すら出てこない。 ħ に アナウン サー や解説者も誰 大家さん、 ひとり どう思い 知 つてい ます?」 る人は į, ない。 さっきも言い ましたが放送

田

中

は

何とか冷静を保ってテ

レ

F

横

0

時

計と映

像の右下の

日時を見る。

第3章

でも、 僕は 間違 1 なく逆田という男に 勧 められてこのテレ ビを買 つた  $\lambda$ 

だ

ったな

携帯電話や液晶

テレ

ビを買うとき『逆田』

という店員のことを尋ねたけれど、

誰も知らなか

そのとき ド ン という音と共 に 例 0) テ V ピ に 映 像 が 現 ħ る。 関 東 電力福 島 原子力発電所

 $\mathcal{O}$ 号炉 0 母 屋 が 吹 0 飛ぶ 瞬 間 0 映 像だ。

っな

 $\lambda$ 

だだ

白 煙と共 に 粉 々 に な 0 た母 屋 0 破 片が 飛 び 散る。

これ は大変なことになる .

二時 '間後に起こることが映されているんだ!」

「なん とか、 誰か にこの……」

L カ 津 波 のときと同じ焦燥感が ふたりに沈黙を強制する。 黙って映像を見続けてい

アナウンサ 爆 発 前 0 映 1 と論 像とこの 説委員と東大 映像 か 5 判 の教授が並 断 すると建屋が完全に吹き飛 んで座ってい る画 面 こに変わ んでい ます。 る。

原子力安全委員会

0 メン バ ] でもあ る東京大学の 東教授 に伺 V ます。 教授、 これ は 号炉です ね

きません」 建 屋 が 爆発 したという報告は受けてい ま せ ん。 この映像だけで一 号炉 ゚ゕ゙ 爆 発したと断定はで

## 第3章 原子力発電所

誰 大家がテレビに が 見た 0 て 明 · 向 5 か カュ じ って怒鳴る。 B な 1 か

論説 委 が 正 す。

一 上 側 は 昨 日 0 画 像です。 少し撮影方向が違い ますが、 現 在 . (T) 画 像 です。 鉄塔 0 位置や二号炉、

三号炉、 兀 号 炉  $\mathcal{O}$ 位置から見て建屋 の上半分が 消失し た 0) は 号 炉 に 間 違 1 な 1  $\mathcal{O}$ で は

なんともいえません」 「一見そう見えますが ŧ L 水素爆発を起こしたのなら関 東電力から報

告が

あ

るはずで、

今は

ますます大家が 興奮する。 田中 は黙って論説委員と教授を見つめる。

つ、惚けやがって」

"水素爆発が起こったのに報告がないとしたら、これは大問題です。これについ て教授のお考

えは?」

報告を受けてからお答えします」

冷静だった 論説 委員が教授を睨

詳 しく説 全国 民 別す が 原 える責 《子力発 任 電 が あ 所 る 0 事 のでは 態 を、 固 ・<br/>
唾を呑んで心配しています。 原子力安全委員会は迅速に

t 説 明を拒 L 水素爆発して天井が 否してい る のでは 吹っ飛んだとしてい あ りま せん。 報告が たら、 ない 以上 放射 能 説明できないのです」 は

- 48

## 第3章 原子力発電所

「仮定の話はできません。過剰に不安を……」アナウンサーも身を乗りだして教授に問いかける。

ついに論説委員が大声をあげる。

何 ŧ 知 らさなけ ń ば、 それこそ不安になるじゃないです か ! 原子力保安院 から Ō 報告もな

いのですか。関東電力への問い合わせは?」

田 中 が 横 12 顔 を振ると真 っ赤 な大家 0 顔 を見 つめ直して言葉を続け

原子 力安全委員会ってなん なのですか。 原子力保安院とは違うんですか

「わしもよく知らんのだが、 原発の安全性を検査したり運用アドバイスしたりするところらし

「よく分からん」

「なぜ、そんな組織がふたつもあるんですか」

「分からない 組織 の人を呼んで尋ねても何も分かりませんよね

「田中さんの言うとおり」

「でも、 屋根 が 吹 つ飛 んでいい るのに暢気なこと言ってますね。 目 の前で交通事故が起こってい

る のに警察や救 急 車 が 来るまで確認が取れないから、 怪我人をほったらかしにするようなもん

じゃないですか

「どうも合点がいかんな」

原子力発電所

は

その

あ 0 教授、 時 間 後 0 本番でも同じことを言うんでしょうか」 テレ

ビがプツンと切れる。

「本番 か。 今見た 眏 像 は 予告編 な 0 か

|本番を見る気 L な V な

とだ」

「こんな大事 件 0) 予告編を見たの に本番を見る気にならなくなるほどしらけた。 なんというこ

\*

ば らく 、の間、 例 0 不思議なテレビにスイッチ が入ることはなか った。 かといって、 ふたり

横のテレビで通常の番組を見る気にもならなかった(とは言ってもNHKのニュ

け は 見 ていたが)。 無為に過ごした数日後、 突然あのテレビの右半分の画 面が輝く。 どこの 部

これ は 発表すべきではありませ ん

屋

か分からないが、

官房長官と誰

かが睨み合っている。

誰 カ がそういうと官房長官か ら少し大きめのシステ ム手帳を取り上げてあるページに太いシ

日 ツ キングピンクの付箋を貼り付 ける。

なぜだ。 こんなこと隠し続けることは 不可能だ」

す。

田 中 が 慌てて携帯で家賃の集金に出か けている大家を呼ぶとビデオカメラの撮影ボタンを押

] スだ

隠すのではありません。 表現方法を変えるのです」

カコ 5 この 莂 誰  $\mathcal{O}$ 原 カン 稿 0 頭 が 手 0 渡さ 上に矢印 ħ . る。 が 現れると「原子力保安院 官房長官が 神 経 を集中して読 の院 むと、 長」という表示が現れる。 見る見るうちに · 顔 を真 その院長 0 赤

する。

「国民を愚弄するにも程がある」

長官。 すでにメルトダウンしているんですよ。そこからの説明が要求されますし、 今さら地

震直後にメル トダウンしていましたなんて、 発表できません」

「いずれ、わかることだ」

い え、大丈夫です。 経済産業省、 原子力保安院、 関東電力は三位一体です」

現場にいる関東電力の関連会社や協力会社の社員の待遇は最悪だ。 現場にいる人たちがいず

れ真実を語ることになる」

「それじゃ、まるで奴隷じゃないか」「大丈夫です。口外すれば彼らは生きていけません」

「長官、言葉を慎んでください」

私に命令する 0 か。 公害にしても薬害にしても結局被害者が真実を掘り起こした。 現場にい

る者と協力して被災者は必ず真実に向かって突き進

む

現場ではなく、 現実を直視してください。 こちらの原稿でお願 1

原子力発電所

そのとき田 中 0 部 屋 のド アを激 しく叩く音が ?する。 ドア を開けると大家が咳きこんで入って

長官は唇を噛むとその原稿をシステム手帳に挟みこむ。

くる。 その大家 に 田 中 -が告げ

「原発は はすでに、 メル トダウンしているらし V) これまでもこれからも政府の報告はウソです」

「テレ が 消 えているぞ」

田 中 が ビデオカメラを操作して再生する。 さっきのさっきまで映っていたのに。でも大丈夫です。 しかし、ビデオカメラにくっついている小さなモ 画 面を撮影してい ます か

ニター は真 っ黒なままで何も映っていない。

故 障 か

田中はビデオカメラを三脚から外して手にすると大家や部屋の中を撮影してすぐさま再生し

てみる。

「ちゃんと映っている」

映 像も音声 も記録できない不思議なテレビにふたりは驚きよりも恐ろしさを共有する。

「ところで何を放送していたんだ」

容についてふたりが激 記者会見前 の官房長官と原子力保安院長とのやり取りです。 しく口論 していました」 これから記者会見で発表する内